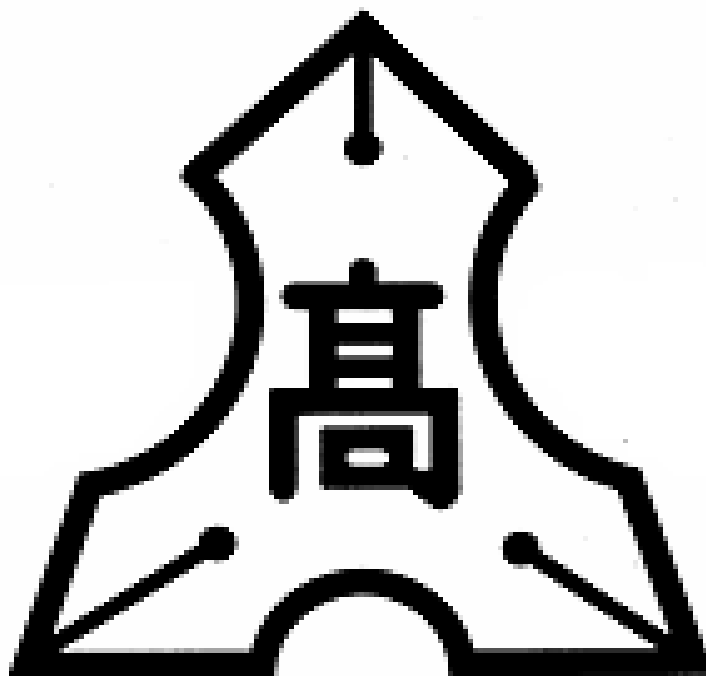


1/14 改訂

令和 7 年度
沖縄県立宜野座高等学校
入学者選抜募集要項



沖縄県立宜野座高等学校

〒904-1302 宜野座村字宜野座 1 番地

TEL (098) 968-8311・8556

FAX (098) 968-4079

目 次

1. 特色選抜	3
2. 一般入学	6
3. 第2次募集	10
4. 追検査	11
4. 受検生に対する注意事項	13
5. 団体表彰における個人の証明について	14

令和7年度沖縄県立宜野座高等学校 入学者選抜募集要項

＜基本方針＞

沖縄県教育委員会の定める「沖縄県立高等学校全日制・定時制課程入学者選抜実施要項」に基づき、下記の通り、第1学年生を募集する。

I. 特色選抜

1. 出願資格

中学校又は、これに準ずる学校、義務教育学校の後期課程又は中等教育学校の前期課程（以下、「中学校等」という。）を募集年度の3月に卒業又は修了（以下、「卒業」という。）見込みの者のうち、次のア及びイに該当するもの

ア 沖縄県内の中学校等に籍をおく者

イ 志願先高等学校が定める「求める生徒像」及び「選抜において重視する観点」を理解し、志願先高等学校の特色選抜出願要件を満たす者

2. 出願の要件

(1) 特色選抜

次に挙げる【選抜において重視する観点】を理解し、【求める生徒像（アドミッションポリシー）】に合致する者

【選抜において重視する観点】（計500点満点）

1. 学力検査 250点満点（50点満点×5教科）

2. 調査書 204点満点

(1) 教科の評定 135点満点（1教科15点満点×9教科）

(2) 特別活動および行動の記録 39点満点（○1つ1点で加算）

(3) 部活動/資格取得等 30点満点（1つの分野10点満点×3つの分野）

*特色選抜活動分野実績評価基準をもとに、実績を点数化。

*提出できる実績分野は、1つの分野から最高3つの分野まで提出することができる。

*実績については、以下に挙げる証明する資料等を添付すること。

①証明する資料（賞状・認定証・新聞・記録等の写し）

②主催のわかる書類（大会要項等）

③団体競技の場合は、登録メンバーであることを証明する資料の写し

*活動実績（体育系・文化系）・資格取得などを証明する書類等について

①1つの分野につき、最上位の実績を1つ、その実績を証明する資料はA4サイズ1枚（~~両面~~）とする。

②提出できる実績は、最大3つの分野まで提出することができる。（同一分野での重複は認めない。）

申請活動分野は以下の分野とする

(ア)：音楽・美術・書道 (イ)：舞踊・ダンス (ウ)：生徒会活動

(エ)：スポーツ活動 (オ)：社会活動 (カ)：ボランティア活動

(キ)：資格取得（英検、漢検、数検等）

*例：県中体連バスケット競技優勝（エ：スポーツ活動分野）・全国中文祭書道部門入賞（ア：音楽・美術・書道分野）・英語検定準2級（キ：資格取得分野）等

3. 独自検査 46点満点

(1) 面接 6点満点

- ① 方法 個人面接
- ② 構成 面接者1名に対し、面接官2名
- ③ 所要時間 5分程度
- ④ 面接内容 志願理由/希望進路/中学での活動内容/高校生活の抱負等
- ⑤ 評価の観点 応答内容/態度・言葉使い/服装容儀等

(2) プレゼンテーション 40点満点

特色についての説明、および表現を含め5分程度行う。その際、各自必要に応じて特色を表現できる道具を用いたり、または実技等を行ってもよい。

- ① 方法 個人での表現
- ② 構成 表現者1名に対し、面接官2～3名
- ③ 所要時間 5～10分程度
- ④ 評価の観点 内容/難易度/発表の工夫/発表または表現態度等

【求める生徒像（アドミッションポリシー）】

- (1) 凡事徹底（時間厳守・あいさつ・身なり・整理整頓等）が実践できる生徒
- (2) 日々の学習、学校行事や部活動に意欲的に取り組むことができる生徒
- (3) 周辺地域と連携した探究活動等に積極的に取り組み、地域の良さや特色を理解し、地域の課題について考えることができる生徒
- (4) 他者との関わりを大切にし、仲間と協働しながら成長したいという意欲を持つ生徒
- (5) 評定平均が3.0以上のもの

〈算出方法〉 評定平均＝（1年～3年までの全科目の評定の合計）/27

（小数第2位を四捨五入）

(2) 特色選抜特別枠

上記に挙げた【選抜において重視する観点】を理解し、【求める生徒像（アドミッションポリシー）】に合致する者で、本校の教育内容を受けるに足る能力と適性①～③を備えていること。

- ① 中学校3年間の内申の成績が評定平均2.8以上で、評定1がないこと。
- ② 部活動（体育系・文化系）においてある程度の実績又は活動歴があること。
- ③ 入学後、部活動に参加する意欲があること。（中学校での種目は問わない。）

3. 募集人員 全日制課程 普通科 3学級

特色選抜：募集定員120名の20%（24名）以内

特色選抜特別枠：募集定員の5%（6名）以内

4. 通学区域 国頭学区、恩納村立喜瀬武原小学校区域、別表第2（第2条関係）に掲げる地域。尚、通学区域以外からの出願については、「沖縄県立高等学校の通学区域に関する規則」に準ずる。

5. 出願期間 令和7年2月3日（月）から2月4日（火）午後4時まで

郵送の場合もこの期限までに必着のこと。ただし、志願先高等学校長が特別の事情があると認めた場合はその限りではない。

なお、沖縄県立学校入学者選抜Web出願システム（以下、「Web出願システム」という。）における志願情報の登録は、1月20日（月）から1月30日（木）正午までとする。

6. 受付場所 本校 面会室（1階）

7. 提出書類

中学校等の校長は、志願者に係る次の書類に入学考査料を添えて志願先高等学校長に出願期間内に一括して提出するものとする。

また、志願者は、Web出願システムにおいて、志願に必要な情報（以下、志願情報という。）を登録する。ただし、特色選抜のみの出願は認めない。

1	特色選抜入学志願書	(特色第1号様式) (Web 出願システムが利用できず、志願情報を登録できない者に限る。)
2	特色選抜志願者名簿	(特色第2号様式) (Web 出願システムが利用できず、志願情報を登録できない者のみ記載する。) ただし、Web 出願システムで志願情報を登録した者については、Web 出願システムから出力される名簿を添えて提出するものとする。
3	写真票	(特色第3号様式) 出願の日前6ヶ月以内に撮影したものとし、カラー、白黒いずれも可とする。上半身、脱帽、縦4.5cm×横3.5cm程度のものとし、裏面に氏名及び生年月日を記入する。
4	調査書	(第4号様式) (1) 「受験番号」欄は中学校等で記入しない。ただし、Web 出願システムを利用して出願したものを除く。 (2) ※印の欄は志願変更する場合のみ記入する。 (3) 記入事項のない欄には斜線を引く。 (4) 「① 各教科の学習の記録」の欄は次のように記入する。 ア 「観点別学習状況」の欄は1年～3年の各学年について十分満足できると判断されるものを○で記入し、○に該当しないところは空欄にする。 イ 「評定」の欄は、絶対評価による5段階の目標に準拠した評価で記入する。 ウ 「総合的な学習の時間の記録」の欄は指導要録に基づいて記入する。 (5) 「② 特別活動の記録」「③ 行動の記録」「④ 総合所見」の欄は指導要録に基づいて記入する。なお、特技・資格(例 英語検定、珠算、書道、柔剣道等の級、段位を具体的に記入する。)については、「④ 総合所見」の欄に記入する。 (6) 「⑤ 出欠の記録」の欄は次のように記入する。 ア 1年及び2年は指導要録に記入されたものを転記し、3年は令和6年12月28日現在で記入する。 イ 出席日数の欄は、不登校の生徒が学校外の施設において相談・指導を受け、そのことが当該生徒の学校復帰のために適切であると校長が認めた場合には、その日数を出席扱いとして出席日数に加えるとともに、()内に内数として記入する。 ウ 備考欄は、欠席の正当な理由のあるものについて、その数値を記入し、その数が10日以上の場合、理由も併あわせて特記する。 (ただし、病欠については回数のみ) また、前記イで相談・指導を受けた適応指導教室等の施設名を記入する。 (7) 「⑥ 健康所見」の欄は健康診断票の該当欄の最も新しい記載事項を転記する。高等学校の就学に支障があると思われる疾病又は異常のあるものについては、募集年度の4月以降に診断した結果を記入し、健康診断書を添付する。 過年度卒業者については、記入を要しない。ただし、令和7年1月以降に行った健康診断書(第12号様式)を添付する。(病院・診療所又は保健所が発行したもの) (8) 令和5年度以前に卒業した者の調査書については、指定された様式で作成すること。
5	住民票謄本等	マイナンバー掲載なし、本人・保護者等の氏名・続柄記載あり。必要事項の記載があれば、住民票抄本・住民票記載事項証明書でも可。 ただし、沖縄本島、古宇利島、瀬底島、平安座島、宮城島、伊計島及び浜比嘉島に在住する者で、通学区域が県全域ではない全日制普通科に出願するもののみとする。また、住民票謄本等は出願の日前3ヶ月以内に発行されたものとする。

6	確約及び証明書	(第5号様式) ただし、次のa及びbの者のみとする。 a 通学区域に関する規則第2条第1項ただし書の規定により同規則別表第2に掲げる地域から出願する者(別表は下記参照) b 沖縄本島、宮古島、石垣島又は久米島の各地域から当該各島に所在する高等学校以外の高等学校に出願する者
7	入学考査料等減免申請書	(第10号様式) 沖縄県立高等学校等の授業料等の徴収に関する条例施行規則(昭和47年沖縄県教育委員会規則第11号)に定める入学考査料等減免申請書を提出したときは、免除するものとする。
8	実績を証明する資料	実績については、以下に挙げる証明する資料等を添付すること。 ①証明する資料(賞状・認定証・新聞・記録等の写し) ②主催のわかる書類(大会要項等) ③団体競技の場合は、登録メンバーであることを証明する資料の写し *活動実績(体育系・文化系)・資格取得などを証明する書類等について ①1つの分野につき、最上位の実績を1つ、その実績を証明する資料はA4サイズ1枚 (両面可) とする。 ②提出できる実績は、最大3つの分野まで提出することができる。(同一分野での重複は認めない。) 申請活動分野は以下の分野とする (ア) : 音楽・美術・書道 (イ) : 舞踊・ダンス (ウ) : 生徒会活動 (エ) : スポーツ活動 (オ) : 社会活動 (カ) : ボランティア活動 (キ) : 資格取得(英検、漢検、数検等) *例 : 県中体連バスケット競技優勝(エ : スポーツ活動分野)・全国中文祭書道部門入賞(ア : 音楽・美術・書道分野)・英語検定準2級(キ : 資格取得分野) 等 *提出は、Web 出願システムを利用すること
9	特色選抜プレゼンテーション申請書	本校HP「令和7年度入試情報」に掲載されている様式(宜野座高校様式)をダウンロードし、添付ファイルとしてWeb 出願時に提出すること

別表第2 (第2条関係)

伊平屋村、伊是名村、伊江村、本部町(水納中学校区域のみ)、うるま市(津堅中学校区域のみ)、南城市(久高中学校区域のみ)、南大東村、北大東村、座間味村、渡嘉敷村、粟国村、渡名喜村、多良間村、竹富町、与那国町

8. 選抜の方法

- (1) 【選抜において重視する観点】(前記2の(1)に記載)を基に、選抜を行う。
- (2) 高等学校長は、選抜項目として定めた学力検査の成績、学校独自検査の成績等を基にして、選抜を行う。ただし、学力検査の成績については、一般選抜の学力検査(各教科配点60点)のうち、思考力等を問う記述式問題以外の得点(各教科配点50点)を成績として取り扱うものとする。
- (3) 面接の期日・時間及び場所
期 日 : 令和7年2月21日(金) 14:45
場 所 : 本校(志願者は14時30分までに事務室前に集合すること)
*芸術科目・理科科目の選択及び特進クラスの希望調査について
志願者全員に対して、特色選抜受付時に芸術科目(音楽、美術、書道)、理科科目(物理基礎、生物基礎、化学基礎、地学基礎)、および特進クラスの希望調査を配布し、特色選抜面接時に回収する。

9. 合格発表

- (1) 令和7年3月18日(火)午前9時に志願先高等学校ホームページにおいて発表する。

10. 不合格者の取り扱い

特色選抜で不合格になった者は、「一般選抜」における入学者選抜を行う。

II. 一般入学

1. 出願資格

- ア 中学校等を募集年度の3月に卒業見込みの者
- イ 中学校等を卒業した者（以下「過年度卒業者」という。）
- ウ 学校教育法施行規則第95条各号のいずれかに該当する者

2. 募集定員

課 程	学 科	学 級 数	定 員
全 日 制	普 通 科	3	120－【特色選抜合格者数】

*通学区域外からの志願者については、全定員の10%以内（特色選抜合格者を含む）とする。

3. 通学区域

国頭学区、恩納村立喜瀬武原小学校区域、別表第2（第2条関係）に掲げる地域。尚、通学区域以外からの出願については、「沖縄県立高等学校の通学区域に関する規則」に準ずる。

4. 出願期間

令和7年2月3日（月）から2月4日（火）午後4時まで
 郵送の場合もこの期限までに必着のこと。ただし、志願先高等学校長が特別の事情があると認めた場合はその限りではない。
 なお、Web出願システムにおける志願情報の登録は、1月20日（月）から1月30日（木）正午までとする。

5. 受付場所

本校 面会室（1階）

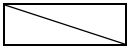
6. 提出書類

出身中学校等の校長は、志願者に係る次の書類に入学考査料を添えて志願先高等学校長が指定した期間内に一括して提出するものとする。

1	入学志願書	（第1号様式）（Web出願システムが利用できず、志願情報を登録できない者に限る。）
2	入学志願者名簿	（第2号様式）（Web出願システムが利用できず、志願情報を登録できない者に限る。）ただし、Web出願システムで志願情報を登録した者については、Web志願システムから出力される名簿を添えて提出するものとする。
3	写真票	（第3号様式） 出願の前日6ヶ月以内に撮影したものとし、カラー、白黒いずれも可とする。上半身、脱帽、縦4.5cm×横3.5cm程度のものとし、裏面に氏名及び生年月日を記入する。
4	調査書	（第4号様式） (1) 「受験番号」欄は中学校等で記入しない。ただし、Web出願システムを利用して出願したものを除く。 (2) ※印の欄は志願変更する場合のみ記入する。 (3) 記入事項のない欄には斜線を引く。 (4) 「①各教科の学習の記録」の欄は次のように記入する。 ア 「観点別学習状況」の欄は1年～3年の各学年について十分満足できると判断されるものを○で記入し、○に該当しないところは空欄にする。 イ 「評定」の欄は、絶対評価による5段階の目標に準拠した評価で記入する。 ウ 「総合的な学習の時間の記録」の欄は指導要録に基づいて記入する。

		(5) 「② 特別活動の記録」「③ 行動の記録」「④ 総合所見」の欄は指導要録に基づいて記入する。なお、特技・資格（例 英語検定、珠算、書道、柔剣道等の級、段位を具体的に記入する。）については、「④ 総合所見」の欄に記入する。 (6) 「⑤ 出欠の記録」の欄は次のように記入する。 ア 1年及び2年は指導要録に記入されたものを転記し、3年は令和6年12月28日現在で記入する。 イ 出席日数の欄は、不登校の生徒が学校外の施設において相談・指導を受け、そのことが当該生徒の学校復帰のために適切であると校長が認めた場合には、その日数を出席扱いとして出席日数に加えるとともに、（ ）内に内数として記入する。 ウ 備考欄は、欠席の正当な理由のあるものについて、その数値を記入し、その数が10日以上の場合は、理由も併あわせて特記する。 （ただし、病欠については回数のみ）また、前記イで相談・指導を受けた適応指導教室等の施設名を記入する。 (7) 「⑥ 健康所見」の欄は健康診断票の該当欄の最も新しい記載事項を転記する。高等学校の就学に支障があると思われる疾病又は異常のあるものについては、募集年度の4月以降に診断した結果を記入し、健康診断書を添付する。 過年度卒業者については、記入を要しない。ただし、令和7年1月以降に行った健康診断書（第12号様式）を添付する。（病院・診療所又は保健所が発行したもの） (8) 令和5年度以前に卒業した者の調査書については、指定された様式で作成すること。
5	住民票謄本等	マイナンバー掲載なし、本人・保護者等の氏名・続柄記載あり。必要事項の記載があれば、住民票抄本・住民票記載事項証明書でも可。 ただし、次のa及びbの者のみとする。また、住民票謄本等は出願の日前3か月以内に発行されたものとする。 a 沖縄本島、古宇利島、瀬底島、平安座島、宮城島、伊計島及び浜比嘉島に在住する者で、通学区域が県全域ではない全日制普通科に出願するもの。 b 志願者が県外の中学校等の出身者で、保護者が県内に在住し、通学区域が県全域ではない全日制普通科に出願するもの。
6	確約及び証明書	(第5号様式) ただし、次のa及びbの者のみとする。 a 通学区域に関する規則第2条第1項ただし書の規定により同規則別表第2に掲げる地域から出願する者 b 沖縄本島、宮古島、石垣島又は久米島の各地域から当該各島に所在する高等学校以外の高等学校に出願する者
7	健康診断書	(第12号様式) ただし、過年度卒業者のみとし、募集年度の1月以降に発行されたものとする。
8	入学考査料	2, 200円
* 志願者によっては、「自己申告書」（第13号様式）、「障害のある生徒の学力検査等に際しての配慮願い書」（参考様式1）、「学力検査等に際しての配慮願い書」（参考様式2）を提出することができる。 * 志願者が県外の中学校等の出身者で保護者が県外に居住している場合には、次の手続きによる。 (ア) 保護者が志願者と共に沖縄県内に居住するときは、「県外からの入学志願のための許可願」（第15号様式）を、募集年度の1月20日（その日が土曜日及び日曜日に当たる場合は、その日の直前の土曜日及び日曜日でない日）までに教育長に提出し、許可を受けなければならない。 (イ) 保護者が志願者と共に沖縄県内に居住しないときは、前記(ア)の許可願と共に県外からの入学志願のための許可願に関する身元引受書（誓約書）及び身元引受人の住民票（出願の日前3ヶ月以内に発行されたもの）を提出しなければならない。 (ウ) 前記(ア)の許可願、入学志願書（第1号様式）、調査書（第4号様式）及び志願先高等学校長が必要と認める書類に入学考査料を添えて志願先高等学校長に提出しなければならない。		

※出願書類作成上の注意事項

- (1) 調査書等は、記載ミスなどがないようにし、訂正がある場合には書類作成者の押印をする。
- (2) 書類は種類別に分け、志願者名簿の氏名の順序に整理して提出する。
- (3) 志願者の氏名、生年月日は住民票謄本等と一致させること。旧漢字は特に注意する。
- (4) 記入事項のない欄にはの  ように斜線を引く。

7. 志願変更及び手続

「沖縄県立高等学校全日制・定時制課程入学者選抜実施要項」のとおりとする。

(1) 志願変更申出期間

令和7年2月7日（金）及び2月10日（月） 午前9時～午後4時までとする。

(2) 入学志願書取り下げ及び再出願期間

令和7年2月17日（月）及び2月18日（火） 午前9時～午後4時までとする。

8. 受付場所 本校 面会室（1階）

9. 選抜方法

「沖縄県立高等学校全日制・定時制課程入学者選抜実施要項」に同じ。尚、本校においては、次の方針をもって実施する。

- (1) 調査書と学力検査等の成績の比重は5：5である。
- (2) 学力検査実施教科ごとの配点は変えない。
- (3) 本校独自の学力検査はすべての教科で実施しない。
- (4) 志願者全員に対して面接を行う。

10. 学力検査の期日及び時間割表等

	第1日目 3月4日(火)	第2日目 3月5日(水)
第1時限 (10:00～10:50)	国語	社会
第2時限 (11:15～12:05)	理科	数学
(12:05～13:00)	昼食	
第3時限 (13:15～14:05)	英語	面接

時刻	時間	第1日目(3月4日・火)	第2日目(3月5日・水)
9:15～9:45	30分	受検生全員集合、点呼	
9:45～10:00	15分	教室入場、出欠調べ、 検査の指示説明、 問題配布	教室入場、出欠調べ、 検査の指示説明、 問題配布
10:00～10:50	50分	第1時限 国語	第1時限 社会
10:50～11:05	15分	休憩	休憩
11:05～11:15	10分	教室入場、問題配布	教室入場、問題配布
11:15～12:05	50分	第2時限 理科	第2時限 数学
12:05～13:00	55分	昼食	昼食
13:00～13:15	15分	教室入場、問題配布	面接控え室入場
13:15～14:05	50分	第3時限 英語	面接

11. 所持品の取扱い

(1) 受検者は検査時間中、次のものを携行すること。

- ・HB以上の濃さの黒鉛筆(シャープペンシルも可。鉛筆は和歌・格言等が印刷されているものは不可。)
 - ・プラスチック製の消しゴム
 - ・定規
 - ・コンパス
- (三角定規は可、分度器及び分度器機能付き定規・コンパス・三角スケールは不可)

(2) 受検者は検査時間中、携行品以外に次のものを机の上に置くことができる。

- ・鉛筆キャップ
- ・鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。)
- ・時計(ただし、辞書、電卓、端末等の機能があるもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。通信機能を持つウェアラブル端末等も不可。)
- ・眼鏡、ハンカチ(無地のタオルを含む)、目薬、ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけを取り出したもの)

12. 受検生の集合時間

第1日目：午前9時15分（本校体育館）

第2日目：午前9時45分（本校各検査場前）

*芸術科目・理科科目の選択及び特進クラスの希望調査について

志願者全員に対して、出願受付時に芸術科目（音楽、美術、書道）、理科科目（物理基礎、生物基礎、化学基礎、地学基礎）、および特進クラスの希望調査を配布し、面接時に回収する。

13. 合格発表 令和7年3月18日（火）午前9時に本校ホームページにて発表する。

III. 第2次募集

1. 方針

合格者が募集定員に満たない学科・コースにおいて、第2次募集を行うものとする。

2. 出願資格

全日制課程へ出願できる者は、学力検査を受検し、県立高等学校に合格しなかった者とする。ただし、本校の学力検査を受検した者は出願できない。

3. 出願期間

令和7年3月19日（水）及び3月21日（金）午前9時から午後4時までとする。

郵送の場合もこの期限までに必着のこと。ただし、志願先高等学校長が特別の事情があると認めた場合はその限りではない。

4. 入学志願書取り下げ及び再出願期間

令和7年3月24日（月） 午前9時から午後4時までとする。

5. 受付場所 本校 面会室（1階）

6. 提出書類

出身中学校等の校長は、志願者に係る次の書類に入学考査料を添えて志願先高等学校長に出願期間内に一括して提出すること。

1	第2次募集入学志願書	（第9号様式）
2	調査書	（第2号様式）（一般入学で提出したものと内容は同じもの）
3	第2次募集志願者名簿	（第10号様式）
4	確約及び証明書	（第5号様式）ただし、次の（a）及び（b）の者のみとする。 （a）通学区域に関する規則第2条第1項ただし書の規定により同規則別表第2に掲げる地域から出願する者 （b）沖縄本島、宮古島、伊良部島、石垣島若しくは久米島の各地域から当該各島に所在する高等学校以外の高等学校に出願する者（伊良部地域から宮古島内の高校に出願する場合は不要）
5	入学考査料減免申請書	（第11号様式）沖縄県立高等学校等の授業料等の徴収に関する条例施行規則に基づく。
6	入学考査料	1, 100円 ・一般入学に出願し、不合格になった者は減免申請書を提出し、これを減額する。（領収書は添付しなくてよい）
*志願者によっては、「自己申告書」（第13号様式）、「障害のある生徒の学力検査等に際しての配慮願い書」（参考様式1）、「学力検査等に際しての配慮願い書」（参考様式2）を提出することができる。		

7. 面接実施日

(1) 期 日：令和7年3月26日（水） 14：30

(2) 場 所：本校（志願者は14時15分までに本校1階ピロティに集合すること。）

＊芸術科目・理科科目の選択及び特進クラスの希望調査について

志願者全員に対して、出願受付時に芸術科目（音楽、美術、書道）、理科科目（物理基礎、生物基礎、化学基礎、地学基礎）、および特進クラスの希望調査を配布し、面接時に回収する。

8. 選抜の方法

選抜は、学力検査成績証明書（第14号様式）、調査書（第4号様式）、面接等の結果を資料として行う。

9. 学力検査成績証明書の取扱い

学力検査成績証明書（第14号様式）については、一般入学の学力検査（各教科配点60点）のうち、思考力等を問う記述式問題以外の得点（各教科配点50点）を記載するものとする。

10. 合格発表 令和7年3月28日（金）午前9時に本校ホームページにて発表する。

IV 追検査

インフルエンザなど学校保健安全法で出席停止の扱いが定められている感染症、急な入院等、やむを得ない事由により、学力検査の全部又は一部を受けることができなかった者は、追検査を受検することができる。

(1) 検査の場所

一般選抜志願先高等学校

(2) 申し出等の日程及び手続

ア 申し出期間は令和7年3月4日（火）および3月5日（水）の2日間とする。

イ 受付時間は、令和7年3月4日（火）午前9時から午後4時、令和7年3月5日（水）午前9時から正午までとする。

ウ 追検査の対象に該当し、受検を希望する者は、申し出期間内に出身中学校等を通じて、「追検査受験希望届」（追検第1号様式）に本検査を受検できなかったことを証明する書類を添えて、一般選抜志願先高等学校へ提出すること。

(3) 追検査の期日及び時間割等

	3月10日（月）
第1時限 (9：00～9：50)	国語
第2時限 (10：05～10：55)	理科
第3時限 (11：10～12：00)	英語
(12：00～12：45)	昼食
第4時限 (13：00～13：50)	社会
第5時限 (14：05～14：55)	数学
(15：15～	面接

- (4) 所持品の扱い
「Ⅱ. 一般入学」の「１１. 所持品の取扱い」に同じ
- (5) 合格発表
「Ⅱ. 一般入学」の「１３. 合格発表」に同じ

受検生に対する注意事項

沖縄県立宜野座高等学校

1. 受検前及び検査場における注意事項

- (1) 受検生は各自の受検番号と受検する教室を事前に確認しておくこと。【3月3日(月)午後4時から5時】
- (2) 受検生は受検当日に遅刻しないように注意すること。遅刻した者は、検査場に入場を認めない場合がある。
集合時間：1日目9時15分（本校体育館）、2日目9時45分（各検査場前）
- (3) 受検者は検査時間中、次のものを携行すること。

- ・HB以上の濃さの黒鉛筆（シャープペンシルも可。鉛筆は和歌・格言等が印刷されているものは不可。）
- ・プラスチック製の消しゴム
- ・定規
- ・コンパス（分度器機能付きは不可）
（三角定規は可、ただし、分度器及び分度器機能付き定規・三角スケールは不可）

- (4) 受検者は、検査時間中、携行品以外に次のものを机の上に置くことができる。

- ・鉛筆キャップ
- ・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。）
- ・時計（ただし、辞書、電卓、端末等の機能があるもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。通信機能を持つウェアラブル端末等も不可。）
- ・眼鏡、ハンカチ（無地のタオルを含む）、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの）

- (5) 受検の際は、すべて監督者の指示に従うこと。
- (6) 監督者の「始め」、「やめ」の合図を十分に守ること。
- (7) 解答が早く済んでも、「退場」の合図があるまでは離席しないこと。
- (8) 問題の解答は、注意事項や問いをしっかりと読んでから始めること。
- (9) 書き損じた場合は、消しゴムでしっかり消してから、それぞれの欄にはっきりと書くこと。
- (10) 検査中は、質問を許さない。ただし、印刷に不明瞭なものがある場合は、無言で挙手すること。（この場合、監督者は、内容について説明しない。）
- (11) 検査中にトイレに行きたくなくなった時、又は健康状態に異常が生じた場合は、無言で挙手すること。
- (12) 検査中は用具の貸し借りは許可をしない。筆記用具は十分に用意しておくこと。
- (13) スマートウォッチ等、計算機付き時計・携帯電話等は検査場に持ち込まないこと。
- (14) 時鐘はチャイム並びに放送で行う。検査会場に時計は設置しない。
- (15) 受検生は各中学校の制服を着用すること。
- (16) 受検生は、縦5cm、横8cmの白地に、出身中学校名、受検番号、氏名を記入した下記の様式の名札を左胸部につけること。

8 c m
出身中学校名 受検番号 氏 名
5 c m

2. その他の注意事項

- (1) 芸術科目・理科科目の選択及び特進クラスの希望調査について
志願者全員に対して、出願受付時に、①芸術・理科科目希望調査票、②特進クラス希望調査票を配布し、面接時に回収する。
- (2) 学力検査両日とも弁当を持参すること。

表彰における個人の証明について

- (1) 実績を証明する文書について、団体表彰などの参加者の氏名が確認できない場合は、別紙資料で本人が参加したことを証明する書類も添付してください。
- (2) 別紙資料を添付した場合、その資料を証明する文書（公印あり）も挿入し、提出してください。
公印の無いものについては証明書として認めないことになります。
- (3) 提出はWeb 出願システムを利用すること

別紙資料(A4) 作成例

メンバー表 など
令和〇年〇〇月〇〇日 上記の生徒は、実績を証明する資料の大会に参加したことを証明する 生徒氏名 : 〇〇 〇〇 〇〇中学校 校長 〇〇 〇〇 公印